



高輪台 12月号



港区立高輪台小学校

〒108-0074 東京都港区高輪2-8-24 <http://takanawadai-es.minato-kyo.ed.jp/>
TEL: 03(5447)0616 FAX: 03(5447)5335

㊦くましく ㊧しこく ㊨かよく ㊩くわくする ㊪れにとっても ㊫ごちのよい 小学校

開校90周年に際して

校長 森 勇人

令和6年11月16日(土)港区立高輪台小学校開校90周年記念式典を本校体育館で行いました。当日は、港区教育委員会教育長、港区長、港区議会議長をはじめ約130名という多くの御来賓をお招きし、盛大にそして厳かな雰囲気の中で行うことができました。閉式後の6年生のアトラクション(お祝いの言葉・合唱)において、6年生の児童は、多くのお客様の前に立ち、非常に緊張した表情でしたが、終始堂々とした態度で、立派に大役を務め上げることができました。「言葉」も「歌」も聴く人皆の心を打つ感動的なものであり、90周年という歴史的な重みを、参列された皆様を感じ取ってくださるような非常に素晴らしい内容でした。終了後、本当に多くの方に賞賛のお声をいただき、高輪台小学校の子どもたちの成長を感じていただけるいい機会になったと、私は嬉しく思いました。

また、校長式辞の中で、6年生に対して「数年後、社会の中心として活躍する中で、「高輪台小学校で学べたことは私の誇りです」と胸を張って言える、そんな人になってくれることを、私は心から願っています。」と述べました。これは、6年生のみならず、高輪台小学校に通う全ての子どもに向けた言葉でもあります。10月2日に行った90周年記念イベントにスペシャルゲストとしてお越しくくださったミュージカル俳優の山崎育三郎さんは、御自身が高輪台小学校の6年生の時に、学芸会で主役として体育館の舞台に立ったことが今のお仕事につながっているといったお話をされました。このように多方面で活躍されている先輩に触れることで、子どもたちは、自らのキャリアプランを思い描くいい機会になったのではないかと考えます。

90周年記念イベントはまだ続きますが、この取組を通して、子ども一人一人が開校90年のこの記念の年をしっかりと心に刻み、将来に向かって羽ばたいてほしいと願っています。御準備くださった、保護者、地域、PTA、同窓会の皆様、本当にありがとうございました。

子どもたちと作ったスローガンにあるように、「みんなでなかよく助け合い 100周年へレッツゴー!」の気持ちで日々努めてまいります。



お知らせ

港区教育委員会表彰候補者の推薦に 関わる情報提供のお願いについて

港区教育委員会では、他の児童の模範となる功績のあった児童や団体を広く知らしめ、他の児童の意欲を呼び起こすことを目的として以下の表彰基準により児童を表彰しています。

つきましては、お子さんが該当すると思われる場合には、以下のとおり担任を通して情報提供していただきますようお願いいたします。

1 表彰基準

- (1) 都大会規模以上の行事(学業、研究活動、スポーツ、芸術等)で優勝もしくはそれに相当する成績を収めたとき。
- (2) その他、人命救助や災害を未然に防止したもの、非常の際特に功労があった場合や他の模範となる功績があったもの。

2 学校お申し出期限 令和6年12月13日(金)

12月の目標

学校をきれいにしよう。

生活指導部

12月の生活目標は、「学校をきれいにしよう。」です。

毎週水曜日を除いて、各学級、学年ごとに掃除を行っています。掃除の仕方は様々ですが、自分たちの使っている教室を隅々まで綺麗にすることを目標に、工夫をしています。

教室だけでなく、1年生は自分の教室を、2年生から4年生は教室だけでなく、学年で共通して使用する手洗い場や階段を、5年生や6年生は他学年も使用する図工室や図書室、算数教室の掃除を行います。学びの場となっている小学校を綺麗にする心は、学校やそこで生活する友達、自分自身を大切にすることを育んでいるように思います。

教職員も、児童とともに掃除を行いながら、ともに生活する喜びや、子どもたちの成長を感じています。

12月には、2学期の最後に行う教室の大掃除があるクラスもあります。新しい年に向けて、教室を隅々まで磨き上げ、気持ちのよい3学期を迎えたいと思います。

高輪台小学校、開校90周年おめでとう!!

90周年実行委員

開校90周年を迎えた高輪台小学校。10月2日には卒業生の山崎育三郎さんをお呼びしてのサプライズ集会、11月8日には記念集会を行い、全校で開校90周年をお祝いしました。そして、11月16日にはたくさんの来賓の方をお招きし、記念式典を行いました。代表で参加した6年生は大変立派な態度で、まさに「90年の歴史をもつ高輪台小の最高学年」としての姿を見せてくれました。今後も記念集会をいくつか計画しています。高輪台小に通う全ての子どもたちにとって、90周年イヤーが素敵な思い出になりますように。

1年

・集会でたかいてーに羽がはえて格好良かったです。山崎育三郎さんに会えてすごかったです。
・90周年のお誕生日おめでとうございます。虹色の翼のうたが大好きになりました。

2年

・山崎育三郎さんの歌声が心に残りました。私だったら恥ずかしくてみんなの前で歌えないけど、育三郎さんはきれいな声で歌っていてすごいなと思いました。また、育三郎さんの歌が聞きたいです。
・育三郎さんがいろいろな歌を歌ってくださって楽しかったです。特に、アラジンの歌や美女と野獣の歌が心に残りました。育三郎さんと90周年のお祝いを一緒にできて嬉しかったです。

3年

・私は、90周年集会や坂田先生が考えてくれた歌などがあってとても楽しかったです。とくに90周年のキャラを考えるのが面白かったです。記念すべき90周年に学校にいられたのが嬉しかったです。
・私は高輪台小学校が90周年を迎えたこと、そしてその時に高輪台小学校に入れて嬉しいです。この学校が100年、150年、ついには200年になることを願っています。私もこの学校の卒業生として名を輝かせたいです。

4年

・90周年記念集会でタカティーに虹色のつばさができ、とても魅力的でした。また、クラスで撮った動画もみんなの好きな行事や場所を知ることができてよかったです。
・90周年記念でいろいろな経験をしました。一人一人が羽を描きつなぎ合わせたり、山崎育三郎さんが来たりしてとても楽しい思い出になりました。

5年

・山崎育三郎さんの高輪台小学校への思いを聞いてすごくいい経験になりました。来年の高輪台小学校を最高学年として引っ張っていけるように6年生の姿を目に焼き付け、今から準備して行きたいです。
・こんな歴史のある高輪台小学校で90周年のお祝いの言葉が言えたのはとてもうれしかったです。これからも10年、20年・・・と歴史が続いていくといいです。

6年

・開校90周年記念式典当日、呼びかけや歌の発表が終わった時に来賓の方から大きな拍手をいただき、私の中で一生残る経験になりました。残り少ない学校生活、悔いが残らないように1日1日を楽しく大切に過ごしていきたいです。

専科授業の様子

図工

図画工作科担当



「今日は何をつくるの？」子どもたちは毎日つくることを楽しみに図工室に来ています。図工の授業では、子どもたちが自分で考え、自分で選び、自分で決定して表現することができます。作品を制作することを通して楽しみながら試行錯誤をし、表現する力を伸ばしていくことのできる雰囲気のある図工室を目指しています。また図工を通して安全な道具の使い方を学んだり、手をたくさん動かすことで普段することのできない経験をし、新たな発想をすることにつながっていきます。



子どもたちが目を輝かせながら活動ができる楽しい学びの環境をつくり、「あ、いいことかんがえた！」という声がかつても聞こえてくるような図工室になるように心がけていきます。

音楽

音楽科担当 坂田 明子

今年度は「合唱発表会」「開校90周年」という大きな行事があり、音楽科は大忙しです。開校90周年記念歌「虹色の翼」を作成し、記念集会で全校合唱しました。この歌は全校児童から高輪台小のよいところ、好きな場所について、言葉を募集し、それをもとに歌詞をつくりました。曲名は、運営委員児童が考えたものです。今後は、6年生の「雅楽鑑賞教室」5年生の「音楽鑑賞教室」、東海大付属高輪台高校吹奏楽部の訪問演奏など、様々な音楽を鑑賞します。その他、低学年の音楽担当とも連携し、2学期後半からは「合奏」の時間も増やします。日々の指導の中で目指しているのは、子ども達が「音楽を楽しく学習していたら、知らないうちに演奏が上手になっていた」とか、毎時間「自分は授業の最初より進歩したな」という意識をもってくれることです。担任の先生方にも「音楽室に行ったら、子ども達が変わって(成長して)戻ってきた」と感じていただけるよう、これからも頑張ります。



国際

国際科担当 大井 紗智

週2回の国際科の授業は、1年生から3年生までは担任とネイティブティーチャー、4年生からは専科教員とネイティブティーチャーで連携して指導を行っています。ネイティブティーチャーは、アメリカ、オーストラリア、カメルーン出身。子どもたちは多様な文化に触れることができます。ネイティブティーチャーと一緒に、英語による実践的コミュニケーション能力の基礎や国際人としての資質を培うため、歌やチャンツに合わせて英語特有のリズムを学んだり、相手意識をもった会話ができるよう発音を練習したりしています。

これからも、友達同士でお互いに自分の気持ちや考えを相手に伝えることの楽しさを味わえるよう、授業づくりに努めていきます。



